

BUNBUN

ぶ ん ぶ ん

ふ な ば し Funabashi.

第 15 号

年 6 回 発行

無料

2021 年 7 月 31 日 発行
発行 船橋市文化振興推進協議会
TEL 047-436-2894

2021

8 月 ~

9 月

縄文と 現代アートが 出会う夏

市教育委員会と文化施設のイベント情報を
ひとつにまとめた WEB 版フリーペーパー！



市民文化ホール/きららホール/郷土資料館/飛ノ台史跡公園博物館
市民ギャラリー・茶華道センター/アンデルセン公園子ども美術館 ほか

WEB 版



R70
古紙パルプ配合率70%再生紙を使用

6 つの施設が毎号交替でイチオシ情報をお届けします。第 15 号（8,9 月号）の担当は飛ノ台史跡公園博物館です。詳しくは 4 ページへ！GO！

各施設からのお知らせ

「手洗い・手指消毒」「マスクの着用」「3つの密の回避」等、感染予防にご協力をお願いします。
* イベント情報は令和3年7月末時点です。新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、内容が変更となる場合があります。詳しくは各施設にお問い合わせください。



市民文化ホール

TEL 047-434-5555

【休館日】
月曜日(8/9、9/20
を除く)

千葉交響楽団特別演奏会 ファミリーコンサート in 船橋

～どこかで聞いたクラシックからドラゴンクエストまで～

【日時】8月22日(日) 14:00開演(13:15開場)

【出演】山下一史(千葉交響楽団音楽監督)、千葉交響楽団、船橋さざんか少年少女合唱団

【料金】大人2,000円、高校生1,000円、子ども(4歳～中学生)500円

※4歳未満入場不可

船橋ジュニアオーケストラ 創立40周年記念 第40回定期演奏会

【日時】8月28日(土) 14:00開演

【出演】船橋ジュニアオーケストラ

【料金】500円



きららホール

TEL 047-423-7261

【休館日】8/30(月)
9/27(月)

ようこそ、大草原のローラの音楽会へ!

【日時】9月18日(土) 15:00開演(14:15開場)

【出演】谷口由美子(構成・進行・朗読)、菅原真理子(ピアノ・作曲・編曲)
福山陽子(ヴァイオリン)

【料金】一般2,000円 友の会会員 1,700円 高校生以下 1,000円
ペアチケット 3,600円

【定員】264名



ちょっと よりみちライブ vol.200

ちょっとよりみちライブ 200回記念(拡大版・約60分)

「こころのうた・思い出のうたコンサート」～歌とピアノ三重奏による～

【日時】9月16日(木) 18:30開演(17:45開場)

【出演】後藤真美(ソプラノ)、佐藤祥(メゾ・ソプラノ)、本庄篤子(ヴァイオリン)
植草ひろみ(チェロ)、横山歩(ピアノ)

【料金】無料(事前申込制、8/20(金)～) ※申込開始日の受付は10:00～

【定員】132名 ※後日配信します!



市民ギャラリー

TEL 047-420-2111

イベント詳細については
お問合せください!

8月の予定

日程	内容
開催中～8/8(日)	第8回ふなばし現代アート展「アラカルト」
8/12(木)～8/15(日)	大平真作作品展4(油絵)
8/16(月)～8/22(日)	三軌会写真部千葉支部展
8/20(金)・21(土)・22(日)	アーティストと子どもたちアート体験プロジェクト「アートを体験する3日間」
8/23(月)～8/29(日)	「アートを体験する3日間」成果展覧会
8/24(火)～8/29(日)	いよいよ国史跡へ! 写真でみる取掛西貝塚
8/27(金)～8/29(日)	墨友会展(書と刻字書)
8/31(火)～9/5(日)	平和のための戦争展・ちば(写真・パネル・資料) 千葉工業大学文化会写真部 なつてん

9月の予定

日程	内容
9/6(月)～9/12(日)	アトリエかたつむり展(油彩・水彩・パステル)
9/7(火)～9/12(日)	彩舟会・彩画会合同作品展(絵画)
9/13(月)～9/19(日)	フォトクラブかかしの会写真展 菊版会木版画展 いきいき同窓会写楽会作品展(写真)
9/14(火)～9/19(日)	等迦会千葉支部展
9/20(月)～9/26(日)	高根台公民館自由美術サークル展(絵画)
9/21(火)～9/26(日)	現代ワックスアート展(ミツロウ画)
9/28(火)～10/3(日)	船橋市いけばな展

アーティストと子供たち アート体験プロジェクト「アートを体験する3日間」

【時間】13:00～16:00 【参加費】500円 【申込】電話(047-420-2111)で先着受付 **受付終了**

- 8月20日(金)アーティストと作るアニメーション ～絵を描いて動かしてみよう～
【講師】永岡大輔(現代美術家)
- 8月21日(土)錯視ブロックワークショップ ～錯視ブロックで不思議なまちをつくろう～
【講師】錯視ブロックプロジェクト(大谷智子・丸谷和史・ヒガキユウコ・中村美恵子)
- 8月22日(日)和紙と墨を使ったアートワークショップ ～和紙と墨で“表現”してみよう!～
【講師】荒井恵子(水墨画家)



西図書館

TEL 047-431-4385

【休館日】
最終月曜日、9/9(木)

西図書館ギャラリー展示

「文豪・佐藤春夫と太宰～船橋時代に出会った師弟～」

【会期】開催中～9月26日(日)

【会場】2階ギャラリー



昭和10年～11年の間に船橋で暮らしていた太宰治と、その期間に出会った師の佐藤春夫について師弟関係を中心に、当時の交友関係、作品について紹介します。直筆書簡についても展示しています。



郷土資料館

TEL 047-465-9680

【休館日】
月曜日(8/9を除く)、
8/10(火)

ミニ展示「これで君も津田沼マスター」

【会期】8月7日(土)～8月31日(火)
【会場】2階展示室 通史展示 近現代コーナー

船橋市と習志野市の「市境」がある津田沼周辺地域についてパネル等で紹介します。

船橋アリーナ内 吉澤野球博物館資料展示室

【休館日】
8/16(月)

企画展「探究！野球道具の世界～バット・ボール・グラブのひみつ～」

【会期】8月7日(土)～8月29日(日) 9:00～21:00

バット・ボール・グラブなどの製作方法や歴史を実物資料や写真を用いて紹介。また常設展示室では、オリンピック関係資料を新たに展示します！

【問い合わせ先】船橋市郷土資料館(047-465-9680)



飛ノ台史跡公園博物館

TEL 047-495-1325

【休館日】
月曜日(8/9を除く)、
8/10(火)

第20回縄文コンテンポラリー展 in ふなばし とびはくにもぐろう！～縄文時代と対話する～

【会期】開催中～8月29日(日) 9:00～17:00 ※最終日は15:00まで

とびはくでは、例年夏休み期間に『縄文コンテンポラリー展 in ふなばし』という展示会を行っています。これは、縄文遺物からインスピレーションを受けたアーティストたちの作品を、史跡公園や館内に展示するというものです。今年度は第20回目です。詳しくは4面をご覧ください。

文化課

TEL 047-436-2887



取掛西貝塚国史跡指定
関連ホームページ

取掛西貝塚国史跡指定記念講演会 ～約1万年前の縄文ワールド第4弾～ 取掛西貝塚を考える

【日時】8月14日(土) 13:30～16:20 【会場】勤労市民センター
【講師】佐々木由香(金沢大学 古代文明・文化資源学研究センター 特任准教授)
禰亘田佳男(大阪府立弥生文化博物館長)
白崎智隆(市教育委員会埋蔵文化財調査事務所)
【定員】300名(先着順) 【申込】電話(047-436-2887)にて受付 **受付終了**



ふなばしアンデルセン公園 子ども美術館

【休館日】 9/6(月)-9/13(月)-9/27(月)

TEL 047-457-6661

企画展「BAMBOO×ねこのHOPPE～音の風景～」松本秋則、松本倫子

【会期】8月14日(土)～9月26日(日)
【会場】展示室1・2、エントランスホール

秋則さんがつくる竹のサウンドオブジェに倫子さんの「ねこのHOPPE」の造形物が楽しそうに乗っています。竹の軽やかな音と動きに二人の愛猫「HOPPE」が重なり合うコラボレーションによる展示です。

企画展ワークショップ「弓形の竹音琴(ちくおんきん)をつくろう！」

【日時】8月29日(日)、9月20日(月・祝) ①10:30～12:30/②13:30～15:30
【会場】談話室
【講師】松本秋則 【定員】各回10名
【費用】500円 【対象】幼児から中学生まで ※小学3年生以下は保護者同伴
【申込】8月1日(日) 9:00～ 電話(047-457-6661)で先着受付

20個程の小さな竹片を釣り糸に通して弓形の竹に取り付けます。弓を傾けると竹片が上から下に落ちながらカラコロカラコロ。松本さんのアイデアでうまれた「竹音琴」をつくって、竹の楽しい音色を楽しもう！

展示「アンデルセンと本の虫～Reading Bugs～」やざわなおこ

【会期】開催中～8月5日(木) 【会場】エントランスホール

粘土で作られたかわいらしい“本の虫たち”がみんなが知らないちょっぴりマイナーなアンデルセン童話を紹介します。みんなはなんのお話しか全部わかるかな？

展示「令和3年度 小・中・特別支援学校「夢・アート」展」

【会期】開催中～8月5日(木) 【会場】展示室1・2

船橋市内の小・中・特別支援学校で授業中に制作した作品の中から、各校の代表作品を展示します。

人形劇 【時間】①13:00 ②14:30 【会場】野外劇場 ※雨天中止

- ・9月12日(日) 第51回 船橋地区アマチュア人形劇フェスティバル
【出演】船橋地区アマチュア人形劇連絡会
- ・9月19日(日) 【出演】まこと座
- ・9月23日(木・祝) 【出演】人形劇ぐるーぷ・バク



Interview 「縄文と現代の対話を楽しんでください！」

縄文コンテンポラリー展実行委員長の平野さんにお話を伺いました。

—縄文コンテンポラリー展とは、どのような催し物ですか？

「コンテンポラリーとは「時代を共にする」という事から転じて「現代的な」「今風な」という意味で使われている言葉です。縄文コンテンポラリー展は、飛ノ台史跡公園博物館のオープン時から、博物館を舞台に、アーティストたちが縄文をテーマとした様々なアート表現を提供する場として続けてきました。」

—今年、第20回を迎えますが、これまでと違うところはありますか？

「縄文コンテンポラリー展を始めた時は、学術分野の施設である博物館でアートイベントを行うことは大変珍しく、当時は賛否両論、様々な意見をいただきました。それから20年後の現在、他でも様々なアプローチが行われ、学術分野とアートのコラボレーションは珍しくなくなっています。そのような中、我々は博物館でアートを行う意味を改めて大事にしていきたいと考えています。今回はそれぞれのアーティストが博物館の遺物を選び、土器などの遺物と一対一で対話することで作品を生み出しています。」

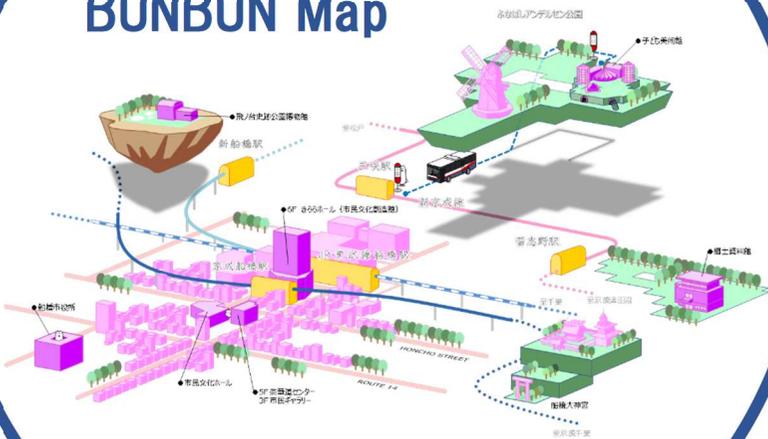
—最後に、皆さんへ一言お願いします。

「コロナの影響で去年は開催できませんでしたが、その分、じっくり熟成した作品とワークショップができました。ぜひ博物館にご来館いただき、縄文と現代の対話を楽しんでください！」



インタビュー風景
(左:平野委員長、右:とびはく担当者)

BUNBUN Map



「BUNBUN」ってどんな意味？

ブンブンと飛び回って蜜を集めるミツバチの様に、船橋の文化施設を巡り“楽しい”を身近に感じてもらうという思いを込めて名付けました。

Pick up!!

展示室や史跡公園にも芸術作品が！



▲史跡公園の展示

学校が夏休みに入るころ、飛ノ台史跡公園博物館(以下:とびはく)の展示室や史跡公園に、多くの芸術作品が展示されます。

とびはくの夏といえば、縄文コンテンポラリー展！！今年のテーマは「とびはくにもぐろう！～縄文時代と対話する～」

で、7/18(日)から開催しています。

14組のアーティストたちは博物館が所蔵する土器や土偶などの遺物を実際に手に取り、一対一で向き合いながら、そこから感じられる縄文の姿をアートという形で表現しています。陶芸・彫刻・絵画など様々な手法で作られた、50点以上の作品が館内外を彩ります。20回目の節目を迎える今回は、とびはくの3階展示室から階段を利用してこれまでの縄文コンテンポラリー展を振り返ります。



▲1階ギャラリーの展示

夏休み、いつもと違うアートなとびはくに来てみませんか？

日 時：開催中 ～ 8月29日(日) 午前9時から午後5時

(入館は午後4時30分まで、最終日は午後3時まで)

※毎週月曜日は休館(8/9(月)・振休)開館、8/10(火)休館

入館料：一般110円、小～高校生50円(※市内在住の小中学生は無料)



▲第1回～第19回までを振り返る掲示

「今、縄文が熱い！！今年の秋にも取掛西貝塚が国史跡指定へ！」

今から約1万年前の船橋に、関東地方最大のムラがありました。その名も『取掛西貝塚』。現在の飯山満町と米ヶ崎町にまたがる台地上にある畑の、わずか30cm下に眠っていた遺跡です。その取掛西貝塚が、今年の秋にも国史跡に指定されます。これは船橋市での国史跡第1号です！

きっと船橋は、縄文時代でも住み良い場所だったのですね。

